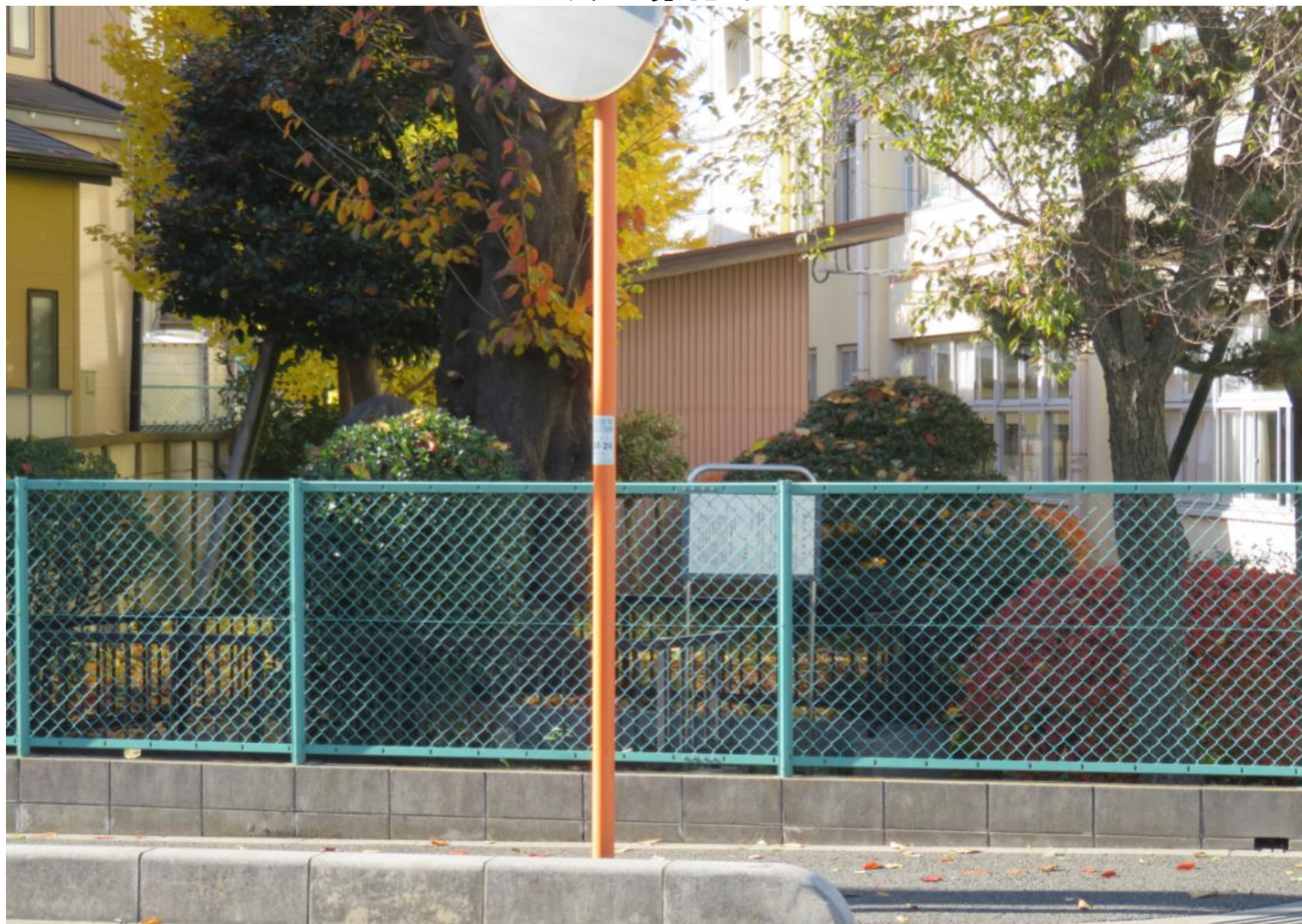


一夜塚古墳(朝霞市)

朝霞第二小学校の道路沿いの柵を見ると、学校敷地内に説明板が立っている



アップで見たところ



これは「一夜塚古墳址」の石碑



一夜塚古墳はかつて朝霞第二小学校内にあった径50m、高さ7mの円墳であったが、昭和18年に校庭拡張のために削平されて、現在は
その跡を示す石碑のみが残っている/6世紀前半の築造と云う

勉学べんがくのすすめ

朝霞第二小学校児童の皆さん、この小学校は今から一五〇〇年程前にこの地方を治めていた豪族のお墓だったといわれる一夜塚古墳跡に建っています。この記念碑の後ろの文を読んで下さい。

私たちはその豪族の子孫なのでしよう。先祖のお墓の上に建てられた学校で勉強しているのです。歴史と伝統のある学校で勉強して立派な日本人になりましょう。

時折、記念碑のまわりのお掃除をしたり、花をあげて、一夜塚の御霊をお慰めしましょう。

平成十七年秋彼岸

一夜塚古跡保存会

(正面) 一夜塚古墳趾

埼玉縣史編纂囑託 稲村坦元書

(裏面)

北足立郡朝霞町岡に一夜塚といへる一大圓墳あり高さ七米直徑五十米昭和十八年四月第二小學校敷地擴張の爲父兄三千人協力して之を崩す墳中に木炭櫛あり漢鏡管玉直刀甲冑鐵鏃馬具杏葉雲珠等を出せり蓋し此地上代新羅郡の置かれ大陸文化の盛なりし所にて近くの柁塚と共に地方豪族の墳墓なること埼玉縣史に詳なり即ち茲に有志相謀り墳趾碑を建て以て記念とす 昭和廿七年三月 竹溪 坦元誌

裏面の状況



前方は学校敷地内の別の場所で見かけた怪しいマウンド



こんな塩梅



氷川神社境内古墳(朝霞市)

さて、ここはすぐ近くの氷川神社



境内北側に狐塚古墳、その少し南にNo.17-1号墳と古墳が並んで存在したらしい



この辺りなのか・・・



その左手を見ると、こんな感じの所も・・・



前方が氷川神社社殿/左手に説明板が立っている



氷川神社 御由緒

朝霞市岡三ー二〇〇一
電話(〇四八)(四六一)(四〇〇四)

□ 御縁起 (歴史)

当社の境内からは造営時に用いられたと思われる鎌倉時代の剣尖紋軒先平瓦が発見されている。その創建も鎌倉時代あるいはそれ以前にさかのぼるものであろう。

鎮座地の約二〇〇メートル北方には「城山」と呼ばれる南北朝期から戦国期にかけての居館跡がある。『風土記稿』には「永祿の比(一五五八、七〇)此近郷は太田新六郎康資が知行と云へば、もしくは康資が館などありしにや」の一文が見える。往時、この館に居住した武将により当社に崇敬が寄せられたことは想像に難くない。

また、同書には「氷川社 村の東方にあり、当村及び根岸・溝沼三村の鎮守なり、勧請の年曆詳ならず、神体は在原業平を祭ると云、昔は神職田中豊前と云者の持なり、この田中は溝沼村に住せしが、その子孫神職を辞し百姓となりける故、今は村内東円寺の持となれり」とある。地元には業平にまつわる伝説はないが、旧新倉郡の内では東国に下向した業平が館の「柏の城」に滞在した伝えや、野寺の満行寺を業平が歌に詠んだ伝えがあり興味深い。現在の祭神は素盞鳴尊である。

神仏分離の後は、明治七年に比留間弥太郎が社掌となり、以後、包魏・好次・栄和と四代にわたって当社に奉仕している。比留間家は所沢市坂下の出で、元は加藤姓であったが、岡の名主であった比留間本家の支援を受けて改姓し、村内で学問を教えていた家柄であった。

□ 御祭神と御神徳

・素盞鳴尊・・・災難除け、安産、家内安全

□ 御祭日

- ・元旦祭(一月一日)
- ・建国祭(二月十一日)
- ・春例祭(四月一日)
- ・秋例大祭(十月九日)
- ・新穀感謝祭(十一月二十三日)

古墳については特に記載は無かった

参考ホームページ

<https://massneko.hatenablog.com/entry/2016/09/12/183000>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/08_aska/negisi.html

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/asaka/ichiya.htm>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12287726824.html>

<https://rubese.net/gurucomi001/?id=80234>

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2017/05/29/010000>

